

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：大山崎町

1. 平成28年度 京都市町村体制づくり支援交付金（公共施設マネジメント分）について【総括表】

計画の概要等	これまでの取組	取組状況	保有する公共施設に係る現状と課題を分析し、計画的な維持修繕の実施による長寿命化や施設保有量の最適化を図り、施設の有効活用を図る「公共施設マネジメント」を推進するため、平成28年3月に「公共施設等総合管理計画」を作成している。また、平成25年5月に「大山崎町橋梁長寿命化修繕計画」を策定している。	
	成果	将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保が図られ、将来にわたる持続可能なまちづくりの見通しを明確にすることができている。		
	問題点	「公共施設等総合管理計画」に基づく具体的な公共施設の再編整備計画の策定及び具体的な調査等が必要となる。公共施設のうち橋梁については、1970年代を中心に架設されており、建設から50年を経過する高齢化橋梁は、2012年では2橋あるが、20年後には18橋(全体の約75%)となり、急速に高齢化が進行している。		
	今後の取組	中・長期的な市町村の課題	本町の公共施設は、老朽化の進行、人口減少社会の到来、厳しい財政状況、大規模災害等への対応など、様々な課題が顕在化している。このような状況から、本町では、保有する公共施設に係る現状と課題を分析し、計画的な維持修繕の実施することが必要となっている。	
	中・長期的な市町村の取組目標	「公共施設等総合管理計画」に基づき、計画的な維持修繕の実施による長寿命化や施設保有量の最適化を図り、施設の有効活用を図る。		
	目標達成に向けた具体的な取組	大山崎町公共施設整備計画を策定し、町公共施設のうち、とりわけ公共建築物について、大山崎町都市計画マスタープランで示しているシビックゾーンにおける町民サービスの向上と業務の効率化を実現できるよう、具体的な再編計画を作成する。また、橋梁については、「大山崎町橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、計画的な管理を実施する。		
事業実施による効果について				
事業名・実施項目		取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
橋梁補修設計業務委託		4橋の定期点検・補修方法検討・設計	定期点検4橋完了	42,000千円/年 (事業効果÷年度(平成31年度～平成75年度))
平成28年度大山崎町管理橋梁定期点検業務委託		19橋定期点検	定期点検19橋完了	

(記載要領)

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

京都市市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名 大山崎町

2. 平成28年度 京都市市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目							
公共施設マネジメント		大山崎町公共施設整備計画策定事業							
事業着手前									
課題・現状	平成28年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定しているが、具体的な公共施設の再編整備のために個別計画を定め、進捗させていく必要がある。								
事業概要	平成25年5月に「大山崎町橋梁修繕長寿命化修繕計画」を策定し、その計画に従い道路橋の健全状況を把握するために、通常点検と定期点検により道路橋の健全状態を把握していき、また、地震や台風などの自然災害時には、異常時点検により計画的な維持管理を行っている。								
期待される事業効果等	これまで損傷が大きくなってから修繕や架替えを行っていたが、今後は長寿命化修繕計画に基づき、各橋梁の重要性や損傷状況に応じた効率的な修繕や計画的な架替えを実施することで、今後50年間で約77%のコスト縮減が見込まれる。								
事業実績									
取組状況	整備計画策定・調査事業委託費 ※道路、橋りょう調査点検事業を含む。								
主な実績数値 (出来高数値等)	19,946千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	町が管理するすべての橋梁につき定期点検を実施。						
事業効果									
事業効果の考え方	本町が管理するすべての橋りょうにおける今後50年間の事業費比較において、従来の対症療法型が29.9億円に対し、長寿命化修繕計画による予防保全型では11.2億円となり、コスト縮減効果は18.7億円となる。 また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。								
年度	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～70	71～75
行革前(a)	128,825	12,466	12,758	264,587	514,103	355,000	1,474,581	225,190	2,400
行革後(b)	177,359	22,802	83,212	6,089	24,024	2,400	452,241	335,520	15,952
効果(a)-(b)	▲ 48,534	▲ 10,336	▲ 70,454	258,498	490,079	352,600	1,022,340	▲ 110,330	▲ 13,552

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。